

公益財団法人山口市文化振興財団

令和5年度 事業計画

令和5年3月

I 基本目標

山口市から管理運営を受託している山口市市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて、各施設の持つ特性を十分に生かしながら、さまざまな文化に触れる機会、参加する機会などを提供する企画事業を実施することで、山口市における文化振興の一翼として、文化を育むまちづくりに寄与するよう努めます。

II 基本方針

市民自らが多様な文化活動へ参加し、芸術文化を享受できる環境づくりを目指して、鑑賞型、参加型、さらには創造型の企画事業を展開するとともに、広く文化に関する情報を収集し、提供します。

また、市民の自主的かつ創造的な文化活動を促進し、支援するための事業を行います。

なお、これらの事業を実施するにあたっては、年度単位での事業計画策定及び事業実施のみでなく、長期的な視点による事業計画や事業展開を行うとともに、事業内容の一層の充実に資する新たな発想による取り組みも推進します。

III 個別事業計画

定款第4条に掲げる6事業、「企画事業」、「育成・支援事業」、「調査研究事業」、「情報収集・提供」、「施設の管理運営受託事業」及び「その他法人の目的を達成するために必要な事業」について、以下のとおり実施します。

1 企画事業

当財団が山口市から管理運営を受託している山口市市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて、各施設の持つ特性を生かしながら、文化振興に関する様々な企画事業を実施することで、市民の皆様が幅広く芸術文化に触れる機会、参加する機会を創出します。

(1) 事務局

山口市市民会館や山口情報芸術センター等、市内の文化施設を活用して、広域的かつ幅広い年齢層を対象とした、演劇・ミュージカルなどの舞台芸術や、室内楽コンサートの公演を行います。

(2) 山口市市民会館

ジャズコンサートなどの質の高い音楽の鑑賞機会を提供するとともに、娯楽性の高い落語会などを開催します。

また、毎年恒例となった市民参加型のコンサートの開催など、市民に多様な芸術文化の鑑賞機会を提供します。

(3) 中原中也記念館

中原中也を軸として、その軌跡や親交のあった人物等を紹介するテーマ展示や企画展、特別企画展を実施するとともに、中也の人物像と作品を分かりやすく解説し、理解を深める一助として、講演会や読書会を開催します。

また、中也の生誕日には、詩の朗読を好んだ中也にならない、自作や愛読の詩を朗読する市民参加型イベント〈中原中也生誕祭〉を実施します。

(4) 山口情報芸術センター[YCAM]

新たな芸術表現を創造し、国内外へ発信していくこと、メディア・コミュニケーション技術や最新テクノロジーの社会応用を実験できる施設として存在すること、その成果を市民に質の高い文化芸術体験や教育的な価値として届けることを基本理念として、多彩な企画を実施するとともに、市民や地域コミュニティとの関りを意識した事業を進めます。

施設開館20周年を迎える令和5年度は、「Axis of Experience(アクシス・オブ・エクスペリエンス)―創造の渦巻き」をテーマに、地域にある豊かな創造性に着目し、新たな交流と創造のうねりを生み出す企画を実施します。

また、山口市教育委員会や山口市中心市街地活性化推進室との連携事業に、引き続き取り組みます。

2 育成・支援事業

財団友の会会員へのサービス向上を図るとともに、組織の拡充に努めます。

また、市民が日常的に芸術文化に触れる機会、文化活動に取り組む機会の拡充を図るため、市民の自主的な文化活動に対し助成金を交付し、側面的に支援する事業を継続実施します。

(1) 友の会の拡充と運営

公益財団法人山口市文化振興財団友の会「Ars Nova Yamaguchi」(呼称:エニー)の会員について、既加入者の継続加入及び新規加入の促進を図ります。

なお、令和5年度は、4月1日から6月30日にかけて入会金無料を特典とする新規入会キャンペーンを実施します。

① 会員期間

入会日から翌年の入会月末まで

② 会費

・入会金(更新時には不要) 500円
・年会費 1,500円

③ 会員特典

・チケットの先行予約及び割引購入
・情報誌(4・7・10・1月発行)及び催物案内(毎月末)の定期送付
・入会時及び更新時に YCAM シネマ及び中原中也記念館の招待券進呈

④ 会員数の推移(件数)

※令和5年3月1日時点

種 別	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
個人会員	905	885	1,129	988	1,024	※1,313

(2) 市民文化活動支援事業助成金交付事業

営利を目的としない市内の個人及び団体等が行う文化事業を助成支援するため、平成9年度に創設した「公益財団法人山口市文化振興財団市民文化活動支援事業」を継続実施します。

市報への募集記事掲載や市内関係機関への資料配布等による広報を行い、より多くの市民の自主的かつ創造的な芸術文化活動を支援します。

① 募集期間

令和5年3月1日～3月31日

② 助成金額

一事業につき30万円を上限

③ 審査方法

審査委員会の設置、開催

④ 申請及び採択件数の推移

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
申請件数	17	14	20	9	11	15
採択件数	17	14	13	8	11	15

3 調査研究事業

(1) 中原中也研究

関係資料の調査、収集、修復、複製の製作等により、中原中也研究を推進します。

(2) 自主企画事業に関する調査及び研究

公演毎にアンケート調査を随時行い、企画事業に対する市民ニーズ等の調査研究を進めます。

また、事業成果のまとめとして、ドキュメント制作や展示・公演記録、ワークショップパッケージ等の情報発信に関わる作業を行います。

4 情報収集・提供事業

(1) 情報誌「any」の刊行

平成9年1月から刊行している情報誌を年4回(季刊)、継続刊行します。

(2) 山口市民会館催し物案内の発行

市民会館における催し物を紹介案内する広報紙を月1回、継続発行します。

(3) 中原中也記念館 館報第29号の発行

活動記録、寄稿文等を掲載する館報を年1回、継続発行します。

(4) 機関紙「中原中也研究」第28号の刊行

研究論文、エッセイ、講演・シンポジウム記録等を掲載する機関誌を年1回、継続刊行します。

(5) 山口情報芸術センター催し物案内の発行

山口情報芸術センターにおける催し物を紹介案内する広報物を継続的に発行します。

(6) ホームページの充実

財団及び山口情報芸術センター、中原中也記念館、山口市民会館のホームページにより、イベント情報を随時発信します。

また、財団の主催・共催公演に関しては、財団及び山口情報芸術センターのホームページからでもチケット予約ができるほか、友の会への入会・更新もホームページ上から手続き可能となっています。

5 施設の管理運営受託事業

当財団が山口市から管理運営を受託している山口市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて、お客様に「安全、安心、快適」に利用していただけるよう適切な業務を行います。

また、山口市民会館及び山口情報芸術センターにおいては、市の条例に基づいた施設の貸与事業を行い、利用者のニーズを踏まえた施設運営に努めます。

6 その他法人の目的を達成するために必要な事業

山口市が主催する、山口市出身の詩人中原中也の業績を顕彰するために創設された現代詩を対象とする文学賞、「中原中也賞」について、市からの委託によりその贈呈式の運営補助を行います。

第28回目となる今回の中原中也賞には、公募・推薦の詩集204点の中から青柳菜摘の『そだつのをやめる』が選ばれ、中原中也の生誕日である4月29日に、賞の贈呈式と記念講演を開催します。

企画事業一覧

財団事務局

事業名	開催時期等	内容
森山直太郎 20th アニバーサリーツアー「素晴らしい世界」<後篇>	5月13日(土) 場所: 山口市民会館	歌手のみならず俳優としても活躍する森山直太郎による、デビュー20周年コンサートを開催します。 キャンディー・プロモーション広島、ラグタイムとの共催事業です。
ストラディヴァリウス・サミット・コンサート 2023	5月26日(金) 場所: 山口市民会館	1台でも数億円と言われるストラディヴァリウスが11台集まる贅沢なコンサートを開催します。究極の名器たちを操るのは、世界最高峰と謳われるオーケストラ「ベルリンフィル・ハーモニー管弦楽団」のメンバーを中心に結成された「ベルリン・フィルハーモニック・ストラディヴァリ・ソロイスト」です。
劇団仲間「給食番長」	5月28日(日) 場所: 山口市民会館	よしながこうたく原作の人気絵本シリーズの第一作目を劇団・仲間が舞台化した、親子で楽しめる演劇作品を上演します。認定こどもステーション山口との共催事業です。
ハイバイ「再生」	7月8日(土)・9日(日) 場所: 山口情報芸術センター	演劇界の常識を覆したエポックメイキング作、劇団「東京デスロック」の多田淳之介による「再生」を、岩井秀人率いる劇団ハイバイが再演出し上演します。初演当時の社会問題であった集団自殺をモチーフに、30分の物語が3回繰り返され、決して再生できない“時間”や今ここにある“生”を克明に描き出す作品です。
ミュージカル「すてきな三にんぐみ」	7月17日(月・祝) 場所: 山口市民会館	演劇企画オフィス・アートプランによる親子で楽しむミュージカル作品を上演します。黒い帽子に黒いマントのこわ〜いドロボウ三にんぐみが繰り広げる、笑って、泣いて、考え、子どもの心を離さない感動作です。認定こどもステーション山口との共催事業です。
アンディ・マンリー新作舞台「ペック」	7月30日(日) 場所: 山口情報芸術センター	子どもたちや、若い観客のためのパフォーマンスを専門とする舞台アーティスト、アンディ・マンリーが、世界的に高い評価を受けるヒット作「ホワイト」や「スティック・バイ・ミー」に続く新作舞台公演を上演します。夏休み企画第1弾です。

事業名	開催時期等	内容
アナのはじめての冒険	8月3日(木) 場所: 山口市民会館	世界中の子どもたちを魅了している、南米チリの劇団テアトロ・デ・オカシオンを招聘し、代表作である「アナのはじめての冒険」を上演します。心がおどるラテン音楽の軽妙なリズムにのせた楽しいミュージカル作品です。夏休み企画第2弾です。
松元ヒロ・ソロライブ	9月2日(土) 場所: 山口市民会館	政治や社会問題に鋭く切り込むネタが持ち味の芸人・松元ヒロによるソロライブを上演します。認定こどもステーション山口との共催事業です。
木ノ下歌舞伎「勸進帳」	10月21日(土)・22日(日) 場所: 山口情報芸術センター	深い見識と鋭敏な感性で古典を現代に鮮やかに読みなおし、現代における歌舞伎上演の可能性を探る団体・木ノ下歌舞伎を率いる木ノ下裕一と、スペクタクルな演出で小劇場から商業演劇まで引く手あまたの演出家・杉原邦生。両者のタッグで2010年に初演され、16年、18年にも再演された話題作「勸進帳」を山口で初上演します。
DYNAMIC 賢者の音Ⅱ「亀井聖矢」	12月17日(日) 場所: 山口市民会館	まさに今、世界が注目し始めたばかりの、国際的に目覚ましい活躍を遂げる演奏家を招いてお届けするコンサート・シリーズです。第2弾として、2022年のロン・ティボー・クレスパン国際コンクールで優勝し一躍注目を集めるピアニスト、亀井聖矢(かめい・まさや)によるソロリサイタルを行います。
マイクロディウム人形劇	令和6年1月25日(木)・26日(金) 場所: 調整中	ハンガリーからやってきた、レナート・オンドラシュによるセリフのない、独特な人形と操作法によるひとり人形芝居を上演します。また、長野県を拠点に活躍するくすのき燕が、江戸時代に途絶えた「肩掛け人形芝居」を現代に復活させ、日本の民話を上演します。
小心ズ ソロ無言劇「ミスしゃっくりの幸せな一日」	令和6年3月16日(土) 場所: 調整中	2005年に結成された、フィジカル・コメディ・ユニット小心ズ(しょうしんず)のYanomi(ヤノミ)による言葉を使わないソロ・パフォーマンスを上演します。認定こどもステーション山口との共催事業です。

事業名	開催時期等	内容
わくわく寄席 vol.2	時期:調整中 場所:山口市民会館	令和4年度に実施した寄席公演の第2弾です。落語、漫談、紙切り、講談など日本が誇る話芸を堪能できる本格的な寄席会場を山口市民会館に作り上げ、生のお囃子とあわせてその雰囲気や語りを楽しんでいただきます。
身体表現ワークショップ	開催時期未定 場所:未定	演劇・ダンス・音楽などのジャンルにおいて、プロとして活躍する表現者を招いて、ワークショップを行います。

山口市民会館

事業名	開催時期等	内容
特撰落語名人会 三遊亭小遊三・林家たい平	4月30日(日)	人気番組「笑点」など、テレビでおなじみの噺家による落語会です。
映画上映会 「異動辞令は音楽隊！」	5月14日(日)	阿部寛主演による、警察音楽隊に異動することになった鬼刑事の奮闘を描く人間ドラマです。
DRUM TAO 2023 30周年記念特別公演	6月24日(土)	驚異のパフォーマンスで表現する和太鼓演奏グループ「DRUM TAO」による、30周年を記念した特別公演です。
(仮)日本センチュリー交響 楽団演奏会	7月2日(日)	日本センチュリー交響楽団と東京混声合唱団による演奏会です。
ジャズフェスティバル	8月20日(日)	山口市内のジャズ愛好家を中心としたメンバーによるジャズフェスティバルを開催します。
反田恭平プロデュース ジャパン・ナショナル・オー ケストラ	9月1日(金)	「ショパン国際ピアノコンクール」第2位を受賞した、ピアニストの反田恭平がプロデュースする「ジャパン・ナショナル・オーケストラ」によるコンサートです。
宝くじ文化公演 「岸谷香コンサート」	11月12日(日)	人気バンド「プリンセス プリンセス」のボーカリストだった岸谷香による、ギターとピアノの弾き語りライブです。
山口県交響楽団演奏会	12月10日(日)	県内唯一のオーケストラとして1955年に創設された山口県交響楽団により、発祥の地である山口市において隔年で開催される演奏会です。
ウクライナ国立フィルハー モニー交響楽団	12月29日(金)	東欧の最も優れたオーケストラと称され高い人気を誇る、ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団による演奏会です。公募した市民合唱団とともに第九を披露します。
第26回ニューイヤー バンドフェスティバル 2024	令和6年1月20日(土)	山口県吹奏楽連盟加盟団体が、平素の練習成果を発表するとともに、他団体の演奏を聴くことにより、演奏技術ならびに音楽表現力の向上、および団体間の親睦を図るコンサートです。
小林愛実 ピアノ・リサイタル	令和6年3月10日(日)	「ショパン国際ピアノコンクール」第4位に入賞を果たした、ピアニストの小林愛実によるピアノコンサートです。

事業名	開催時期等	内容
第 51 回市民コンサート	令和 6 年 3 月 20 日(水・祝)	<p>年度内に開催された各種音楽コンクールにおいて優れた成績を収められた方や、平素から熱心に音楽活動を行っている方々を招いてのコンサートです。</p> <p>市内の中高生で編成するジュニアオーケストラがコンサートの最後を締めくくります。</p>
(仮)ミニコンサート	開催時期未定	旧軽食喫茶室のスペースを活用して、ミニコンサートを開催します。

中原中也記念館

事業名	開催時期等	内容
第 20 回テーマ展示 「詩集『山羊の歌』」	令和 5 年 2 月 15 日(水) ～ 令和 6 年 2 月 12 日(月・祝) ※特別企画展期間を除く	中原中也の第一詩集にして、生前唯一の詩集でもある『山羊の歌』。200 部限定出版という、比較的少部数の出版でしたが、小林秀雄、河上徹太郎、草野心平らが高く評価し、詩人・中原中也の名を広く知らしめる本となりました。 『山羊の歌』収録詩には、「サーカス」や「汚れつちまつた悲しみに……」など、中也の代表作といわれるものも多く、今も多くの読者を魅了し続けています。 本展では、刊行までの紆余曲折、収録詩の解説、刊行後の読者の反応など、さまざまな視点から『山羊の歌』を紹介します。
企画展 I 「中原中也と関東大震災」	4 月 19 日(水) ～ 7 月 23 日(日)	大正 12 年 9 月 1 日、マグニチュード 7.9 の大地震が関東地方を襲います。この関東大震災は未曾有の被害を与え、人々の暮らしや文化に大きな変化をもたらしました。中原中也は京都に住んでいたため被災することはありませんでしたが、2 年後に上京し、復興期の東京で生活しました。 令和 5 年は関東大震災から 100 年目にあたります。本展では、当時の状況や文学者・中也の周辺人物の被災体験、災害から生まれた文学などを通じて、文学の背景にある震災の影響を探ります。
中原中也生誕祭「空の下の朗読会」	4 月 29 日(土・祝)	中也の生誕日に館の前庭で開催。 詩の朗読を好んだ中也にならい、自作や愛読の詩を朗読する一般参加の朗読会とコンサートを行います。今年は、ラッパーの GOMESS をゲストに迎えます(無料)。 このほか、オンライン・イベントとして、朗読を動画で Twitter 投稿いただく「中也 web 朗読会」を行います。
屋外展示	前期 5 月～10 月 後期 11 月～令和 6 年 4 月	中也ゆかりの山口線をイメージした枕木を一部使用した中庭では、今年のテーマ「友への詩」にちなんだ中也の詩を紹介します。

事業名	開催時期等	内容
第8回ぼうしの詩人賞 ～あつまれ！未来の中也たち！～	募集：7月1日(土)～10月下旬	帽子をかぶった中也の肖像写真のイメージから名付けられた「ぼうしの詩人賞」。 山口市内の小・中学校に在籍する児童・生徒を対象に、「中原中也」や「詩」に触れる機会をつくるため創設しました。 12月に表彰式・朗読会を、12月～令和6年2月に入選作品の展示を行います。
特別企画展 「草野心平と中原中也」	7月27日(木) ～10月1日(日)	昭和9年、詩人・草野心平と中原中也は、同人誌「歷程」の朗読会で出会い、以後交友を結びます。中也は心平らが発行した「歷程」の同人となり、また中也が詩集『山羊の歌』の装幀を高村光太郎に依頼する際、仲介したのが心平でした。中也にとって心平は個人的につきあいのある数少ない詩人の一人であり、また互いの詩を高く評価し合う、良き理解者でもありました。 令和5年に心平が生誕120年を迎えることを記念し、草野心平記念文学館協力のもと、二人の深い交友の軌跡と、心平の詩の魅力について紹介します。
公開講演	第1回 9月9日(土) 第2回 10月～令和6年2月開催予定	「中原中也の会」との共催により、講演会を行います。 第1回 講師：川島幸希(日本近代文学研究者、古書収集家)、演題「署名本の世界—中原中也と四季派の詩集から」
企画展Ⅱ 「中也と短歌」	10月4日(水) ～令和6年4月14日(日)	大正9年2月、中原中也12歳の時、雑誌「婦人画報」に初めて自作の短歌が掲載されました。その後地元の新聞などに発表の場を広げ、大正11年には年上の歌人2人と歌集を刊行するまでになりました。故郷の山口を離れ、詩を制作するようになった大正12年以降、短歌作品は数首ほどしか確認できませんが、歌を詠んだ経験は、のちの詩作にも強い影響を与えているように思われます。本展では、山口の歌壇の人々との関わりを中心に、中也と短歌の関係について探ります。

事業名	開催時期等	内容
中也忌	10月22日(日)	<p>中也の命日10月22日、中也在眠る「中原家累代之墓」(吉敷・経塚墓地)に職員がお参りし、募集したメッセージを墓前に供えます。</p> <p>命日の前後には、追悼イベントを行います。</p>
山羊の日	12月10日(日)	<p>昭和9年12月10日、中也の生前に刊行された唯一の詩集『山羊の歌』。中也にとって念願の第一詩集が出た記念すべき日を「山羊の日」と名付けてお祝いします。</p>
中原中也を読む会	毎月第4金曜日	<p>教育普及事業として実施します。</p> <p>テーマに沿った中也の詩を読み込んだり、記念館の展示を学芸員の解説とともに見学するなど、気軽におしゃべりしながら、詩の世界を楽しく味わうことができます(無料)。</p>
開館30周年記念事業	通年	<p>令和6年2月18日に開館30周年を迎えます。</p> <p>メインとなる令和6年度の記念事業開催に向けて諸準備を進めるとともに、収蔵資料、中学生向け副読本のデジタル化、30周年記念ロゴマーク・グッズ制作などに着手します。</p> <p>このほか、事業検討委員会を設置し、開館20周年時に提出された「報告・提言書」に基づいた各種事業の進捗状況を評価いただいた上で、今後10年間の事業の方向性を協議・検討していただきます。</p>

山口情報芸術センター[YCAM]

事業名	開催時期等	内容
【20周年記念事業】 第7回 未来の山口の運動会 —あつまれ！未来のスポーツ 収穫祭	5月5日(金・祝)	今回は、YCAMだけでなく、これまで山口市内の「スポーツ共創」の場で作られた新しいスポーツを運動会種目として集め、市内で活躍するクリエイターとともに開催します。
【20周年記念事業】 浪のしたにも都のさぶらふぞ	6月3日(土)～9月3日(日)	台湾の3人のアーティスト、シュウ・ジャウエイ、チャン・ティントン、チェン・シェンユウとYCAMのコラボレーションによる新作の展覧会です。 近代における台湾と日本の関係や記憶を、製糖産業の歴史を通して迎える作品で、台湾編(2021)と新作となる日本編で構成されます。 YCAMでの公開が世界初公開となる日本編は、かつて国際貿易港として繁栄し、台湾からも砂糖が運ばれていた北九州・門司港を主な舞台として、VRを含む映像インスタレーション作品として発表します。 また、台湾文化センターからの助成を受け、台湾の映画上映やライブコンサート、トークイベントなど、多彩な関連イベントを開催します。
【20周年記念事業】 The Speculative Library	10月28日(土)～1月28日(日)	「教育」をテーマとしてアートセンターの機能や役割について、様々な視点の意見や海外のアートセンターの活動事例等を集め、議論を行う展覧会です。 展覧会では、アーティストの考えや作品を展示するだけでなく、来場者のアイデアを共有したり、追加していく場を作ります。 会期中はトークイベントやワークショップを通じて、参加者が新しい教育の姿を思い描き、その成果を会場に加えていく企画とします。
【20周年記念事業】 山口市の映画館の歴史&山口ゆかりの映画特集	11月1日(水)～1月31日(水)	かつて市内に点在していた映画館の歴史をアーティストとともに辿り、地域のメディア史を改めて捉え直す企画です。 時代とともに変化してきた映画館や周辺の街なみ、その様子を見つめながら暮らしてきた人々の姿をリサーチし、懐かしい写真や貴重な映像、市民の方々のインタビュー等を交え、1つの作品として提示する展覧会を開催します。また、山口に関連する映画等の上映も行います。

事業名	開催時期等	内容
【20周年記念事業】 YCAM オープンラボ	11月4日(土)	「YCAM 開館 20周年記念事業」として、ゲストを招いてこれからの YCAM について語り合うシンポジウムを開催します。
【20周年記念事業】 YCAM コミュニティラジオ	通年	YCAM のエデュケーションチームがアーティスト、リサーチャー、山口の人たちと共に、メディアテクノロジーのこと、アート作品のこと、くらしのことなどを発信するラジオ番組を制作し、音楽ストリーミングサービス「Spotify」にて公開します。
The Flavour of Power -紛争、政治、倫理、歴史を通して食をどう捉えるか？	展示:3月11日(土)~6月25日(日) 出版:令和6年3月	「食と倫理リサーチ・プロジェクト」の成果を発表する展覧会です。 インドネシアを拠点に活動するアーティスト集団「バクダパン・フード・スタディ・グループ」とともに、食にまつわる調査を山口で実施。戦時中の日本とインドネシアとの関わりを起点に、食の背景にあるパワー(政治、流通、資本など)に目を向け、リサーチの成果を映像インスタレーション、オリジナルのカードゲーム、資料展示として発表します。会期中には、野草採取のワークショップやカードゲーム体験会なども開催します。
sound tectonics installation #6 toiret status 新作インスタレーション	3月25日(土)~10月1日(日)	館内の中庭でサウンドインスタレーション作品を展示する展覧会シリーズ「sound tectonics installation(サウンド・テクトニクス・インスタレーション)」の第6弾として、音楽家 ビートメイカーの toiret status(トイレット・ステータス)の新作を発表します。
sound tectonics installation #7	11月~	
YCAM Dance Crew	7月1日(土)、2日(日)	参加者各個人のダンススキルに合わせた内容のワークショップを実施します。また、踊るだけではなくそれらを映像にすることで、ダンス表現の幅を広げたり、ダンスを見つめ直すきっかけを作り、さらなる向上を目指せる内容とします。

事業名	開催時期等	内容
Forest Symphony	7月22日(土)～11月5日(日)	音楽家でアーティストの坂本龍一がYCAMとともに制作・発表したインスタレーション作品《Forest Symphony》を展示する展覧会です。世界各地の樹木から収集した生体電位データに基づき、会場を包み込むサウンドを生成するプロジェクトです。雪舟ゆかりの文化財、常栄寺雪舟庭において実施します。
CLOUD FOREST	8月1日(火)～11月30日(木)	YCAMが2010年に世界初公開した「CLOUD FOREST」は、メディアアーティストの先駆的存在のアーティストの中谷芙二子と高谷史郎によるインスタレーション作品です。情報技術を駆使して人工霧やサウンドを緻密に構成し、つくり上げられたインスタレーション作品をアップデートして再展示します。
真夏の夜の星空上映会	8月10日(木)～8月13日(日)	毎年、夏休み期間に、隣接する中央公園で開催するYCAM恒例の野外上映イベントです。多彩なジャンルの映画を上映することから、親子連れからお年寄りまで多くの方々が来場し、YCAMの「夏の風物詩」として、大きな賑わいを見せています。開館20周年となる2023年度は、通常3日間のところを、4日間に渡って4本の映画を上映します。
YCAM 爆音映画祭	9月15日(金)～9月18日(月)	爆音映画祭・boid 主宰の樋口泰人氏監修のもと、国内でも最高レベルの音響環境と言われる山口情報芸術センター スタジオAを会場に、年度ごとに工夫に溢れたセッティングで複数作品の映画上映を行います。映画上映では通常用いられないことのない音楽用の音響機材を贅沢に用いて、鑑賞者に繊細かつ大音響で映画を体感してもらうことで、これまでにない映画体験を創出します。
Audio Base Camp #2	9月29日(金)～10月1日(日)	国内でも最高レベルの音響環境と言われるYCAMのスタジオAに、ライブ・コンサート向けの大規模かつ高品質なスピーカーをセッティングし、特定のテーマに沿った録音物を楽しむリスニングイベントを開催します。

事業名	開催時期等	内容
Back to Back Theatre 「影の獲物になる狩人」	10月14日(土)、15日(日)	知的障がいのある俳優を中心に、オーストラリアを拠点として30年以上活動を続ける劇団「Back to Back Theatre」の招聘公演を実施します。インクルーシブシアターの先駆けとして、社会を鋭く照射する作品は世界的に高い評価を得ています。
わたしもアートがわからない	開催時期調整中	幅広い市民に向け、芸術作品をより楽しみ、鑑賞を深めるためのレクチャーイベントです。美術教育の専門家や研究者など、多彩なゲスト講師を迎え、作品鑑賞の際に生まれる「分からない」という感覚を出発点に、作品鑑賞をより楽しいものに変化させるための「コツ」を、レクチャーや作品鑑賞会などを交えながら伝えます。
YCAM シネマ	通年	通年で、国内外の優れた映画作品を紹介する上映会です。 古典から最新作、地方では上映機会の少ない海外作品まで幅広く「様々なジャンルの映画の上映を行います。また、上映に合わせて、監督や出演者らのトークイベントも随時開催し、映像作品への理解を深めます。
委嘱作品の修復・整理・保存	通年	国内外の大学・研究機関などの芸術文化関係者との連携により、メディアアート作品の修復・整理・保存に関する研究を進めます。
委嘱作品の巡回	通年	開館以来、YCAM が制作し、発表してきたオリジナルの委嘱作品やワークショップの多くが、国内外の美術館や劇場、アートフェスティバルなどへ巡回しており、このことが現在の国内外からの高い評価へとつながっています。 YCAM のより一層の価値向上に資するため、委嘱作品の巡回展に積極的に対応します。
プロモーション事業	通年	YCAM の多岐に渡る活動の内容や魅力を、ポータルサイトや、テレビ・新聞をはじめとするマスメディア、ウェブマガジンなどのオンラインメディアへ向けて発信していきます。 また、多様な文脈やアウトプットを発信する手段として年間のラインナップを紹介するガイドブックを制作し、幅広い層への情報発信を積極的に進め、YCAM への理解度を高めていきます。